

「男性の今、女性の今 —多様化する家族への対応を考える」

講師：北島歩美（日本女子大学カウンセリングセンター専任研究員）

雇用の不安定化、女性の社会進出、核家族化の進行、少子高齢化などにより、家族は、この20年で大きく変化してきています。LGBTの家族、ステップファミリーなど、家族形態の多様化も今後は進んでいくと言えるでしょう。しかしながら、保育園の待機児童は、相変わらず減少せず、男性の育休取得率もあがりません。個々の家族のニーズは変化しているにもかかわらず、わが国の社会構造がうまく対応できていないことが原因と言えます。心理支援の現場でも、男性、女性の在り方は変化してきます。子どもがひきこもりである、妻が暴力をふるうなどで相談の場に訪れる男性は増加傾向にあります。よりアクティブに家族に関わりたい（あるいは関わらざるを得ない）という男性は増えているのです。

一方、女性も、男性に対しては、経済的な満足だけでなく心理的な満足も求めるようになってきています。従来の男性役割、女性役割を遂行するだけでは、うまく家族を運営できない時代が到来したと考えられます。その変化の渦中にあるのは支援者も同様です。自分自身の価値観を問い直し、時代に即した支援が今後求められることとなります。今回の研修では、改めて、男性の特徴、女性の特徴について捉え直し、多様化が進む現代、性役割を超えて家族を結びつけるものとは何かについて考えたいと思っています。

日 時 : 2020年1月19日(日) 13:00~17:00

会 場 : 国際医療福祉大学・赤坂キャンパス 3階特大教室

※この研修会は、更新ポイントの対象で、本機構が主催する必修ポイントの1つとなります。

定 員 : 先着120名(定員になり次第締め切り)

対 象 : 家族心理士、家族相談士、など

参加費 : 5,500円(消費税込み、自己都合によるキャンセルの返金は出来かねますのでご了承下さい)

締切り日 : 2019年12月31日(火)まで

申込方法 : 今年度よりお申し込み方法が変わります！

※従来の往復はがきでの申し込み方法ではなくなります。

- ① 当機構ホームページの研修会申し込みフォームからお申し込みください。
- ② 同時に同封の振込用紙にて参加費をお振込下さい。
- ③ 入金確認ができましたら、お申し込み完了のメールをお送り致します。
(入金確認には4~5日かかることがあります。)
- ④ そのメールは参加証になりますので、当日必ずメールを印刷して受付にご提示ください。

*修了証は、お帰りの際に受付でお渡し致します。

申込み先：<http://www.kazokushinrishi.jp/>

振込先： 加入者名：(一社)家族心理士・家族相談士資格認定機構
郵便振替口座番号：00260-6-15397

* ご不明な点がありましたら資格認定機構までお問い合わせください。03-3815-2680
営業時間：月水木 10：00～16：00 またはホームページのお問い合わせフォームからどうぞ。

* 当日連絡先：080-3122-6480

<会場場所>



【国際医療福祉大学・赤坂キャンパス】

- 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A 出口より徒歩3分
- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A 出口より徒歩3分
- 千代田線「赤坂駅」徒歩8分
- 銀座線・南北線「溜池山王駅」徒歩12分